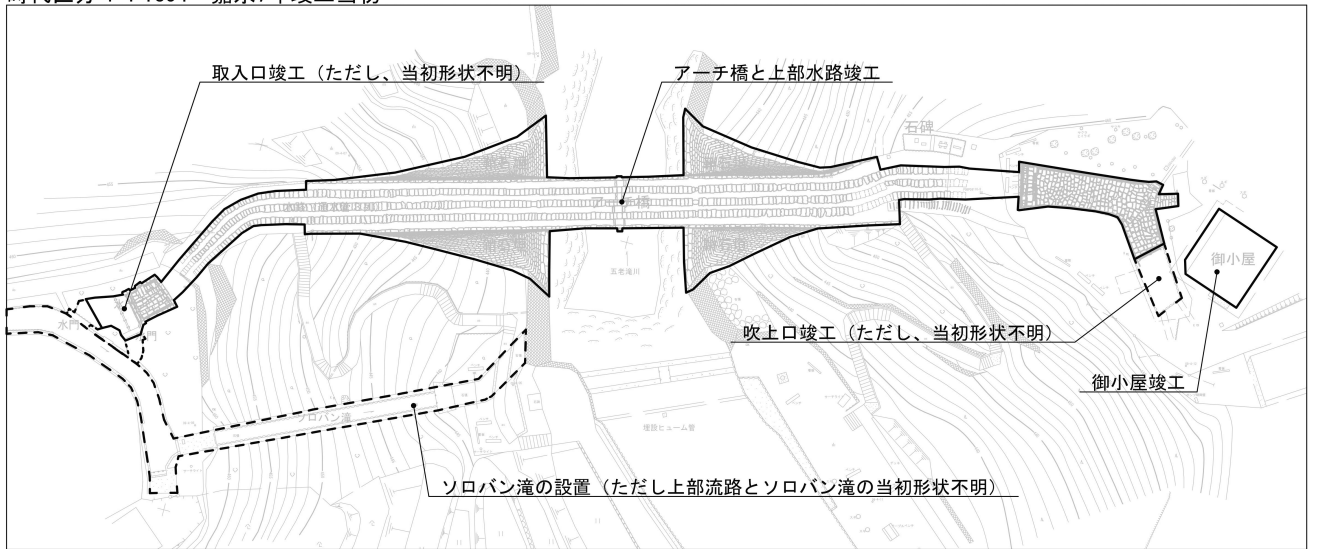


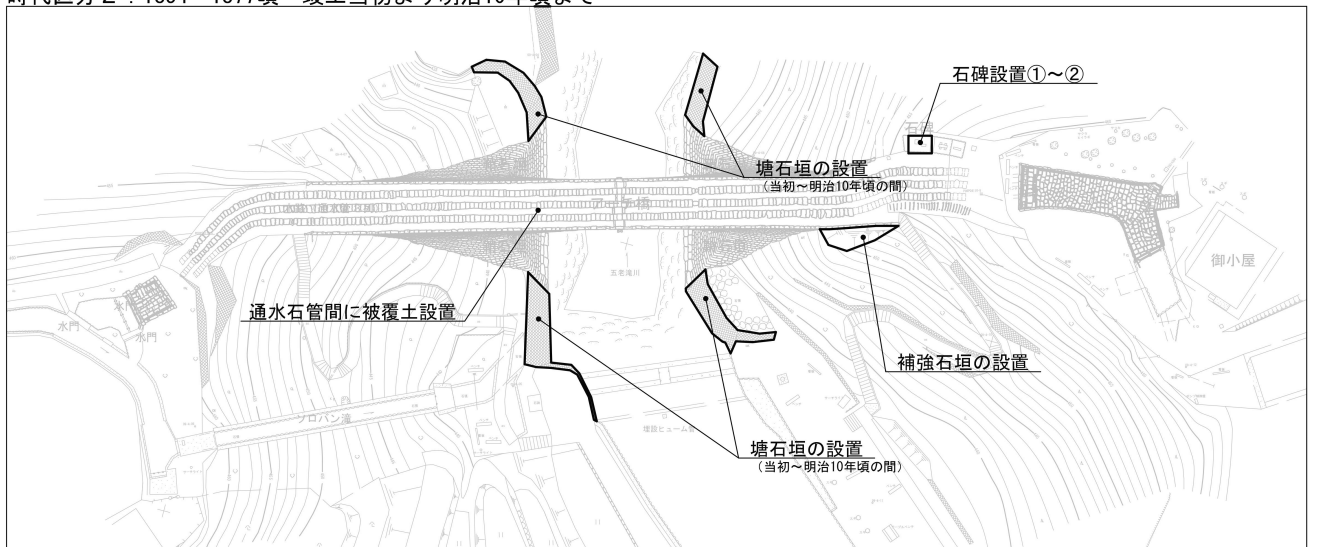
表2-3-1 通潤橋の改造・修理等の履歴

区分	年月日			実施主体	管理・工事等の内容		関連調査内容	事業費	備考	
	年	月	日		部位	内容				
一	嘉永7年	1854	8月晦日		竣工					
改造	大正8年	1919	—		通水管 取入口	鉄管1本を埋設 取入口の水区切石の一部を除去				
	昭和29~36年	1954 ~1961	—	旧白糸村	その他 吹上口	ヒューム管を五老ヶ滝川河床へ新設 吹上口敷石の一部を除去			上井手改修・円形分水設置と 同事業。	
	建造後～昭和35年までの期間				通水管	木管12箇所のうち9箇所を石管に変更 ※木管は3箇所のみとなる			詳細な時期は不明	
一	昭和35年	1960	2月9日		重要文化財 指定					
修理	昭和37年	1962	10月26日	旧矢部町	通水管	木管補修（腐食部分のセメント補強）				
	昭和42年	1967	2月2日	旧矢部町 文化財保護委員会	通水管	漏水調査				
	昭和43~45年	1968 ~1969	—	旧矢部町	通水管	漏水調査 / 木管取替			事業照会のみで、実施の有無 等は不明。	
	昭和46年	1971	5月 ~10月	旧矢部町 (施工：葺建設)	橋本体 取入口 吹上口 通水管	石積み根巻コンクリートを設置 取入口水区切石復旧 / 吹上口敷石復旧 / 取入口・ 吹上口の通水口出入口に鉄格子設置 木管（松丸太）取替3箇所 / 目地詰替（漆喰等） 170箇所 / 石管上面破損部をモルタル被覆、橋上 全体に覆い盛土 / 鉄管除去		総額：590万円 ・国：190万円	部分修理工事 国庫補助事業（文化庁）	
	昭和50年	1975	—	旧矢部町	通水管	漆喰詰替				
	昭和53年	1978	11月 8~30日	旧矢部町	通水管	漆喰詰替				
	昭和57年	1982	7月 ~12月	旧矢部町 (施工：尾上建設)	通水管	木管取替3箇所 目地詰替（漆喰等）41箇所他	■石材・漆喰の強度試験（凍結融 解） ■放水に伴う振動の計測（橋上部 位の計測） ■アーチ下面石垣の損傷調査	総額：2010万円 ・国：1306.5万円 ・県：201万円 ・町：502万円 ※工事費 ：約1260万円	部分修理工事 国庫補助事業（文化庁）	
	昭和58年	1983	5月 ~11月	旧矢部町 (施工：尾上建設)	取入口 吹上口 通水管	取入口目地詰替 吹上口壁石・敷石の解体・敷き直し / 吹上口排水 路補修 木管補修3箇所 / 目地詰替（漆喰等）				
	昭和61年	1986	12月 1~3日	通潤地区土地改良区	通水管	漆喰詰替			元配水係長原田悦穂氏 の記録による	
	昭和62年	1987	3月17日	通潤地区土地改良区	通水管	漆喰詰替			元配水係長原田悦穂氏 の記録による	
	平成7年	1995	—	旧矢部町 (実施：文建協)	通水管	漏水調査				
	平成12~13年	2000 ~2001	—	熊本県 (施工：尾上建設)	取入口 吹上口 通水管	取入口漆喰詰替 / 取入口ゲート石取替 / 吹上口漆喰 詰替 / 吹上口敷石敷き直し / 吹上口背面（通水管 連結部）改良盛土 石管取替20箇所 / 石管据え直し37箇所 / 石管の含 浸処理 / 目地詰替（漆喰等）219箇所 / 石管上部 盛土の除去	■通水石管調査（石質・加工分 類） ■漆喰材料（石灰・松葉汁）の検 証 ■含浸処理効果検証 ■構造診断（S57年実施を転用）	総額：2億6150万円 ・国：1億3075万円 ・県：6537.5万円 ・町：6537.5万円 ※工事費 ：約8590万円	部分修理工事 国庫補助事業（農水省） 通潤橋地区地域水環境整備 事業（歴史的施設保全型）	
	平成15年	2003	1月28日	通潤地区土地改良区	通水管	漆喰詰替3箇所			土地改良区負担	元配水係長原田悦穂氏の記録 による（平成12~14年生成漆 喰を使用）
	平成16年	2004	1月20日	通潤地区土地改良区	通水管	漆喰詰替2箇所			土地改良区負担	元配水係長原田悦穂氏の記録 による（平成12~14年生成漆 喰を使用）
	平成23年	2011	2月	通潤地区土地改良区 山都町	通水管	漆喰詰替7箇所			土地改良区負担	（平成14年生成の松葉汁を使 用）
	平成24年	2012	2月	通潤地区土地改良区 山都町	通水管	漆喰詰替			土地改良区負担	
平成26年	2014	2月	通潤地区土地改良区 山都町	通水管	漆喰詰替	■漆喰材料・施工仕様の検討		土地改良区負担	漆喰の検討結果は、保存活用 計画書に掲載	
平成27年	2015	3月	山都町	重要文化財 通潤橋 保存活用計画 策定		■石材調査（地質・工学） ■通水管振動・ひずみ調査 ■三次元計測による劣化調査			平成25~26年度国庫補助事業 （文化庁）による ※計画放水へ移行（平成27年 4月~）	
一	平成28年	2016	4月14日 4月16日		熊本地震により被災（通水管の漏水・壁石垣上部のはらみ出し）					
修理	平成28年 ~同31年	2016 ~2019	7月 ~2月	山都町 (施工：尾上建設)	橋本体	左岸上流側手摺石積み直し14石 / 右岸上流側手摺 石積み直し23石	■三次元計測による被害確認	総額：1億2825.6万円 ・国：1億901.7万円 ・町：1923.9万円 ※工事費 ：約1億1082.9万円	部分修理 災害復旧 国庫補助事業（文化庁） ※平成30年5月大雨災害による 崩落防止処置（崩落面モル タル被覆養生等）を含む	
					通水管	目地詰替（漆喰）148箇所 / 木管取替1箇所（ホ 19）※蟻害				
					取入口	目地詰替				
一	平成30年	2018	5月7日		大雨により被災（右岸上流側壁石垣の一部崩落（93石））					
修理	平成31年 (令和元年) ~令和2年	2019 ~2020	2月 ~5月	山都町 (施工：尾上建設)	橋本体	右岸上流側壁石垣積み直し148石 / 壁石・裏築間 ジオテキスタイル補強（経過的補強）	■三次元計測による崩落石材の原 位置の特定、崩落パターン分析、 被害確認 ■裏築の解体中写真測量調査・図 化	総額：1億5359.8万円 ・国：1億3055.7万円 ・町：2304.1万円 ※工事費 ：約1億2384.5万円	部分修理 災害復旧 国庫補助事業（文化庁）	
					通水管	石管解体・据え直し37箇所 / 石管取替1箇所（ホ 21） / 上面補修6箇所（漆喰・赤土セメント系3箇所）				
					吹上口	目地詰替				

時代区分1：1854 嘉永7年竣工当初



時代区分2：1854~1877頃 竣工当初より明治10年頃まで



時代区分3：1877頃~1960 明治10年頃より昭和35年重要文化財指定まで

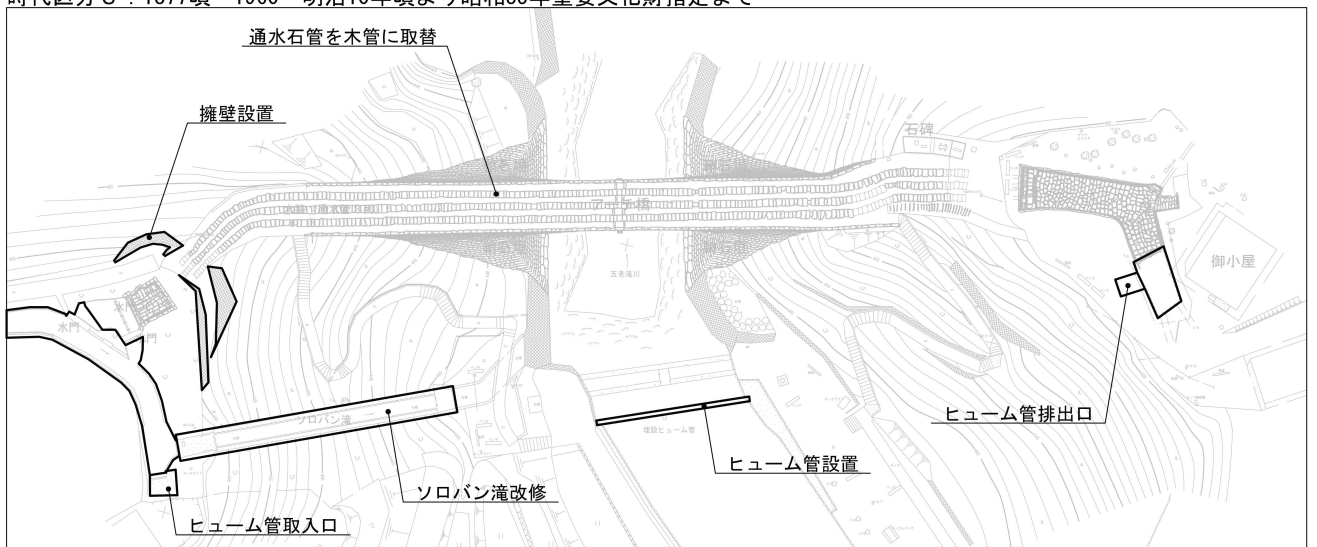


図2-3-1 変遷図1 (嘉永7年から昭和35年まで)